

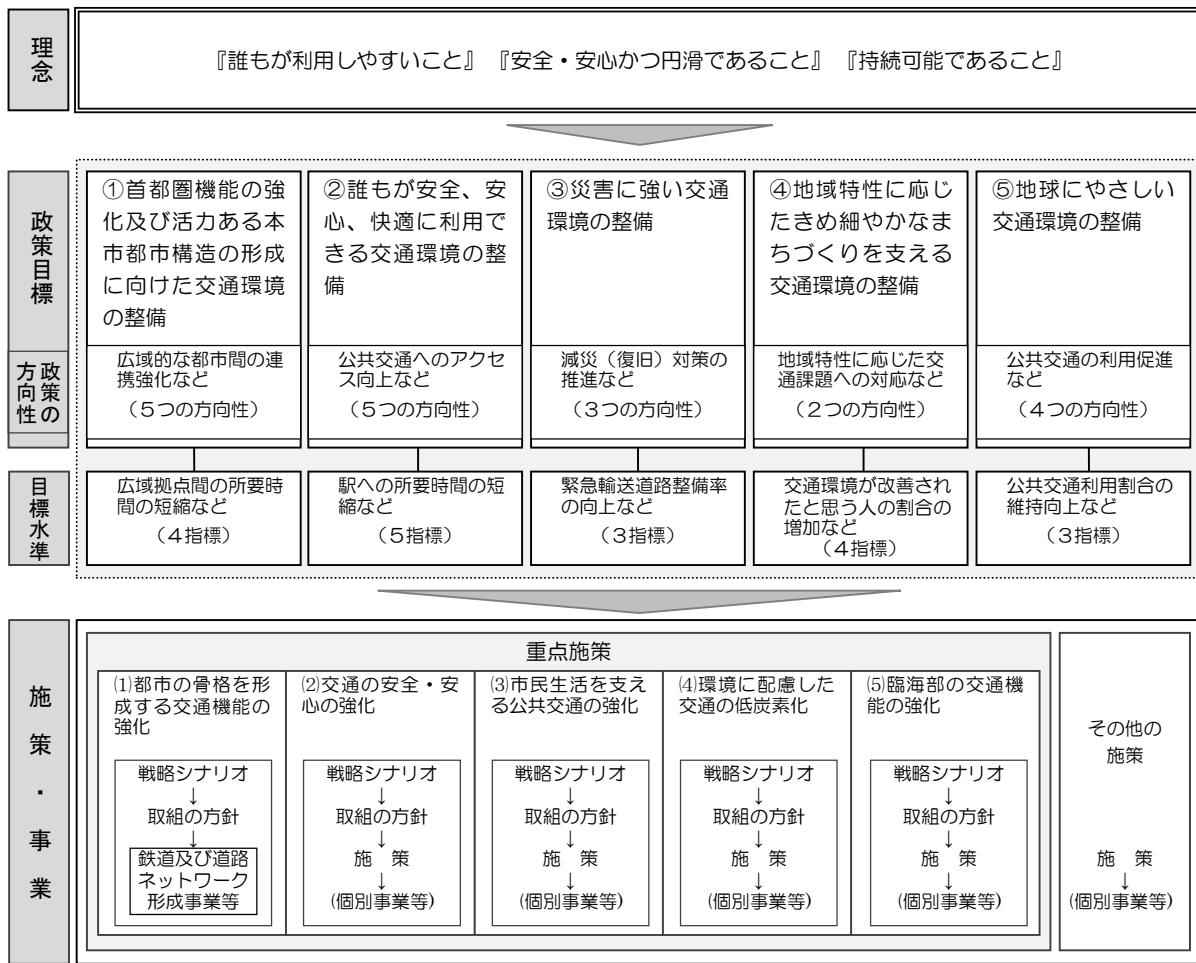
## 1 川崎市総合都市交通計画の概要

### (1) 計画の概要

- 川崎市では、さまざまな交通課題に対応した、総合的かつ持続的な交通政策を推進するため、平成25(2013)年3月に「川崎市総合都市交通計画」を策定しました。
- また、本計画は、概ね20年後を目標年次としていますが、計画策定後、総合計画などの上位計画や関連計画の策定・改定が行われること、高齢化の一層の進展や産業構造の変化などの社会経済状況に変化が生じていくことを踏まえ、本計画のPDCAサイクルとして、策定後5年毎の中間見直し、10年目の全体見直しを行うこととしています。
- 現在は、策定5年目の中間見直しとして、平成30(2018)年3月に改定を行った計画に基づき、目指すべき交通環境の実現に向け、関係者の連携・協力のもと、各種の施策・事業を戦略的に実施しています。

### (2) 計画の構成

- 本計画は、「誰もが利用しやすいこと」、「安全・安心かつ円滑であること」、「持続可能であること」を本市交通政策の理念に掲げ、将来目指すべき都市交通の姿のもとに、その実現に向け、都市の骨格を形成する鉄道や道路ネットワークから市民にとって最も身近な地域交通までの重点施策等を総合的、体系的にとりまとめています。



## 2 令和元(2019)年度における計画の進捗状況について

### (1) 進行管理の概要

- 川崎市総合都市交通計画では、計画に位置付ける示す各種の施策・事業を着実に推進していくために、PDCAサイクルによって進行管理を行います。
- 進行管理では、定期的(5年毎)に目標水準の達成状況の評価などを踏まえて計画の見直しを行うほか、毎年度、施策・事業の進捗状況を把握することとしています。

表 進行管理の工程(令和元(2019)年度まで)

年度	取組内容	年次報告書作成
平成24(2012)年度	総合都市交通計画策定	—
平成25(2013)年度	施策・事業の推進	—
平成26(2014)年度	施策・事業の推進	平成25(2013)年度版
平成27(2015)年度	施策・事業の推進	平成26(2014)年度版
平成28(2016)年度	施策・事業の推進	平成27(2015)年度版
平成29(2017)年度	施策・事業の推進 施策展開などの中間見直し	平成28(2016)年度版
平成30(2018)年度	施策・事業の推進	平成29(2017)年度版
令和元(2019)年度	施策・事業の推進	平成30(2018)年度版
令和2(2020)年度	施策・事業の推進	令和元(2019)年度版

### (2) 令和元(2019)年度の進捗状況の確認結果

- 計画に位置付ける施策・事業について、令和元(2019)年度の進捗状況の確認を行った結果、個別の取組では、関係者との協議・調整等により変更や遅れが生じたものなどがありましたが、施策・事業全体としては概ね計画どおり進捗しました。変更や遅れが生じた個別の取組については、関係者との協議・調整等を実施し、今後着実に取り組みます。
- また、令和2(2020)年11月策定の「脱炭素戦略(かわさきカーボンゼロチャレンジ2050)」をはじめ、関連する分野別計画の策定・改定状況なども踏まえ、引き続き、取組を推進します。なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、状況を注視しながら、施策・事業の内容や手法について、必要に応じて見直しを行ってまいります。

	施策	施策・事業数	進捗状況
重点施策	(1)都市の骨格を形成する交通機能の強化	17	概ね計画どおり進捗しました なお、「羽田連絡道路の整備」など個別の取組では一部変更や遅れが生じました
	(2)交通の安全・安心の強化	17	概ね計画どおり進捗しました なお、JR南武線武蔵溝ノ口以北の駅アクセス向上に向けた「JR津田山駅の自由通路整備・橋上駅舎化の工事」など個別の取組では一部変更や遅れが生じました
	(3)市民生活を支える公共交通の強化	19	概ね計画どおり進捗しました なお、JR南武線武蔵溝ノ口以北の駅アクセス向上に向けた「JR津田山駅の自由通路整備・橋上駅舎化の工事(※(2)の再掲)」など個別の取組では一部変更や遅れが生じました
	(4)環境に配慮した交通の低炭素化	12	概ね計画どおり進捗しました
	(5)臨海部の交通機能の強化	12	概ね計画どおり進捗しました なお、臨海部の交通結節機能の整備・強化に向けた「大師橋(産業道路)駅駅前交通広場の整備」については遅れが生じました
その他施策		9	概ね計画どおり進捗しました
合 計		86	

- ▶ 本資料は、令和元(2019)年度の施策・事業における個別の取組のうち、主な取組を抜粋して紹介したものです
- ▶ その他の主な取組は、年次報告書の7頁以降を御覧ください。また、全ての施策・事業は、同21頁以降を御覧ください

### 重点施策(1) 都市の骨格を形成する交通機能の強化

#### 横浜市高速鉄道3号線の延伸に向けた取組

新たな鉄道ネットワークの形成を目指し、横浜市高速鉄道3号線(横浜市営地下鉄3号線)の延伸について、横浜市と本市が協調した取組を進めています。

令和元(2019)年度は、平成31(2019)年1月に、横浜市が事業化していくことを判断して以降、本路線に関する説明会や川崎市側の有カルート案の考え方についての意見募集を実施し、地域交通やまちづくりの視点から評価を行うとともに、市民の皆様からの御意見等を踏まえ、令和2(2020)年1月に、概略ルート・駅位置について、横浜市と合意し決定しました。

#### 横浜市高速鉄道3号線延伸の概要

##### ●事業概要

- ・整備区間: あざみ野 ~ 新百合ヶ丘
- ・整備延長: 約6.5km
- ・概算事業費: 約1,720億円
- ・ルート・駅位置: 新駅4駅  
(既設あざみ野駅を除く)
- ・事業主体: 横浜市交通局
- ・開業: 令和12(2030)年開業目標  
(交通政策審議会答申の目標年次)

##### ●整備効果

- ・広域的な鉄道ネットワークの形成
- ・新幹線へのアクセス機能の強化
- ・移動時間の短縮
- ・沿線地域の活性化



概略ルート・駅位置図

### 重点施策(3) 市民生活を支える公共交通の強化

#### 川崎駅東口周辺の交通環境改善(企業送迎バス対応等)に向けた検討

川崎駅周辺地区においては、企業送迎バスの停車が多く確認されるなど、一般車や路線バスを始めとする公共交通の流動阻害を発生させています。

そのため、小川町地区の駐輪場・道路改良と併せて、バス乗降場を整備し、企業送迎バスを誘導するとともに、当該乗降場の適正利用を図るなどの、駅前交通環境改善に係る取組を進めています。

令和元(2019)年度については、企業送迎バス等の貸切バス事業者と、乗降場整備に関する内容及び工事期間中の対応に係る協議・調整を実施し、令和2(2020)年11月より、暫定供用を開始しています。



整備計画の概要

### 重点施策(4) 環境に配慮した交通の低炭素化

#### エコドライブの普及促進に係る取組

九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)にて、環境に配慮した運転である「エコドライブ」の推進を図るため、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)や自動車教習所と連携し、エコドライブ講習会を開催しました。

#### 令和元(2019)年度の開催実績

- (6月と11月の2回、神奈川県を含めた計4会場で開催)
- ① 6月10日~24日 受講者数: 延べ71人
- ② 11月11日~26日 受講者数: 延べ58人

#### 講習の内容

- ・個別指導による実車講習
- ・燃費計を使用した運転診断
- ・運転診断の結果と個別指導
- ・水素で走る自動車等の同乗体験



座学講習の様子

### 重点施策(2) 交通の安全・安心の強化

#### JR南武線の駅アクセス向上等に向けた取組

JR南武線武蔵溝ノ口駅以北の5駅(稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、久地駅、津田山駅)については、鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全性・利便性の向上に向け、平成22(2010)年2月に「南武線駅アクセス向上方策案」を策定し、駅へのアクセス向上等に向けた取組を進めています。

#### 津田山駅における自由通路及び橋上駅舎部の整備

・自由通路及び橋上駅舎部の整備については、令和元(2019)年度に完了しました。

・自由通路については、令和元(2019)年6月に北口の使用を開始しましたが、南口にアクセスする通路の整備工事に遅れが発生しました。そのため、南口に暫定的な仮設通路を設置することとし、令和2(2020)年6月頃の南口の供用開始及び自由通路開通に変更しました。  
(※令和2(2020)年5月に供用開始済)



津田山駅(左:北口側、右:南口側)

### 重点施策(5) 臨海部の交通機能の強化

#### 大師橋(産業道路)駅前広場の整備に向けた取組

臨海部の交通結節機能の強化に向けて、大師橋(産業道路)駅前交通広場の整備に関する取組を進めています。

令和元(2019)年度は、大師橋(産業道路)駅前地区の地区計画変更に係る交通管理者との交通計画協議を完了しました。

また、駅前交通広場供用後のバス路線の再編成について、バス事業者と協議・調整を実施しました。

なお、詳細設計及び用地取得については、関連事業が遅延したため、次年度実施に変更しました。



完成イメージパース